

窓口支援事例 【栃木県 知財総合支援窓口】

企業情報

株式会社井上製作所			
所在地	栃木県佐野市天神町959		
ホームページURL	www.inoue-seisakusho.com		
設立年	1963年	業種	金型部品の加工
従業員数	5人	資本金	1000万円

自社の強み

井上製作所は、金型部品の加工を主に行っている会社です。栃木県佐野市には、「天明鋳物」と称された金属加工産業が今なお息づいています。時代の要求に伴いイノベーションを続け、機械工業の関係機器分野に進出するようになりました。

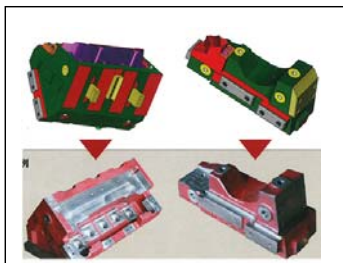
当社はそのDNAを受け継ぎ、鋳物の製造販売を生業として創業しました。以来、自動車用プレス金型、工作機械、食品製造装置、プラント関連など、幅広い分野で使用される金属部品の加工を行ってきました。中でも自動車用プレス金型分野には長年の実績があり、単品小ロット、複雑な形状物への対応技術は、高く評価されています。



自社の強み

当社には、スタッフ全員が図面を読めるという優位性があります。常に品物と図面を照らし合わせることで、二次元の絵を三次元に展開できる技能を取得。設計図から、設計者の意図を正しく読み解くことで、お客様が求めるものを、お客様が必要とするタイミングで供給することが出来ます。

「高精度な品質、無駄を無くすことで可能なコストパフォーマンス、徹底した納期の厳守」を実現しています。



一押し商品

当社は、社会の変遷に伴いお客様からのご要望も変化し続けている中、どのような時代の流れにおいても常に柔軟に対応できるように全社をあげて取り組んでいます。それが、「レイバーイノベーション」です。大手N社NPW改善コンサルティング室の指導を受けて行っている「現場改善活動」のことです。お客様の求める品質と価格、納期にお応えするために、オリジナルのクルマの造り方を構築してきました。その蓄積されたノウハウを活かした提案には定評があり、4年前から実施しています。提案された改善案を基に実施することで、生産性が向上し、新たな営業活動に専念できる等大きな成果をあげています。



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社は、異業種交流会に参加したのをきっかけとして、新たな分野（福祉医療分野）に取り組んでいます。この開発で、共同開発先として、J医科大との産学連携で、福祉・医療分野の商品開発を行っております。その成果としての特許出願の話があり、産業振興センターの新事業支援課からの紹介により、知財総合支援窓口にご相談にきました。

最初の相談概要

特許出願に向けての出願手続き等を知りたいとの意向であったので、説明をしました。説明後、共同開発であるので、共同研究契約書等の契約の締結について聞きましたが、何もなされていない状況でありました。これから、開発状況を聴取するとともに共同開発先との契約の締結に向けての交渉等を行うように支援を行いました。

その後の相談概要

共同開発の進捗を確認すると共に共同出願契約等の締結に対する支援を行い、対等な立場での締結を行いました。出願に際しても、展示会での出展前までに完了することができました。また、意匠出願の支援を行い、権利を取得しました。現在は、その後の改良・機能改善等がありますので、優先権主張での出願について支援していきます。また、商標出願支援も考えております。

窓口を活用して変わったところ

今までは、知財には関係ないと考えておりましたが、特許出願等を経験することで、知的財産に対する考え方が変わり、知財を身近なものと感じるようになりました。また、契約に関しても、今までは、相手方からの提示をそのまま受け入れていましたが、相手方との交渉等を経験することにより、契約の大切さが理解できました。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

今までは、知財とは敷居の高いものと感じていましたが、窓口の担当者の適切な支援を得ることができ、自社開発品の権利化を図ることができます。今後は知財の有効活用等を考えております。知財は企業にとって、身近なもので無視することはできませんので、事業展開や課題等がありましたら、知財総合支援窓口にご相談してみたいかがでしょうか。

窓口担当者から一言（氏名：金子 一雄）

本件は、産学連携に対する企業への支援として行い、結果的には契約の締結、特許出願、意匠出願による意匠登録と目に見える成果を得ることができました。また、知財の必要性が理解されたのではないかと考えています。今後は、特許等の有効活用を図る等知財面からの企業活性化に寄与できればと考えております。